

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
みつばち森アフタースクール		R7年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	利用者のニーズに応じて、配置の工夫をしています。また、宿題時は集中して取り組めるように、環境の整備もおこなっています。	部屋の構造上、人数が多くなると、音が反響しうるさくになってしまうので、戸外での活動も取り入れ、分散し活動をおこなうこともあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	当日の出勤者の多数が、有資格者であり、利用者に相応しい対応ができるよう心掛けています。	現状、職員数に関しては問題ないです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		利用者が使用する設備等については、問題なく過ごせるよう配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	利用者の活動に応じて、すぐに環境を変えていけるよう、配置に気をつけています。	今後も、利用者が快適に過ごしていけるように、環境に留意し、ニーズに応じた環境を整備していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	気持ちを整理するためや、宿題をするにあたって個別の指導が必要な利用者・体調不良により静養できる部屋を用意しています。	個室をたくさん用意できないので、本来に必要なとしている利用者が使用できるように気をつけています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	就業前に職員間で情報を共有し、みんなが同じ支援を提供できるよう、ミーティングをしています。	職員全員が参加する会議を定期的におこない、皆が同じ考えのもと、支援を提供していけるよう努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	アンケートの結果を、職員全員に周知し、改善に向けた話し合いを行っています。	ご意見を受け止め、改善すべき点について話し合い、早急に対応していけるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員との会話を大切にしてい、話しやすい環境を整え、意見交換の場を設けています。	職員とのコミュニケーションを大切にいき、風通しの良い環境を目指していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		定期的に、第三者による外部評価をおこない、業務改善に努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	研修に参加できなかった職員にも情報を共有できるように、議事録を取り、閲覧・周知するようにしています。	今後も、職員の質の向上を図っていけるよう、職員の現状を把握していき、ニーズに合った研修を開催していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		適切に作成し、HPIに掲載し、公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	保護者様に取りっていただいているアプリでも、個別支援計画を見れるように、掲載しています。	全く利用していない利用者のニーズや保護者様のニーズを聞く際、なかなかお返事がなくて、期日に間に合わないことがあります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	全職員の意見が聞けるような体制で、会議を進めています。	月に一度、全体会議をおこない、職員各々の話しを聞く場を設け、支援法の周知及び、支援の仕方を検討しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		短時間の利用だと、計画に沿った支援をおこなうことが難しい状況もありますが、計画に沿った支援をおこなえるよう心掛けています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	日々、変わった様子があれば記録し、保護者様にも帰りの送迎にて、お話するようにしています。	細心の注意を払い見るようにしていますが、見落としがないためにも、多くの職員で見れる環境を整えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		利用者・保護者様のニーズを聞き、その思いが達成できるような支援を考え、支援計画書を作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	年間計画に沿った活動や、利用者の要望等にも応えた活動をおこなっています。	決められた時間の中で、利用者のために最善の選択をおこない、有意義な時間を経験できるようにしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	マンネリ化しないように、季節の行事や楽しめる企画を考え、予定を立てています。	戸外に出る時は、職員を多く配置して、怪我や他の人の迷惑のならないように見えています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		短時間の利用だと、組み合わせでの支援が難しい状況もありますが、時間を見つけて放課後等デイサービス企画に沿った支援をおこなっているよう努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に、職員で打ち合わせをおこない、送迎の確認・利用者の支援等について確認をおこなっています。	全職員が同じ考えのもとで、支援をおこなっているよう心掛けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		職員間で一日を振り返り、明日の支援開始前の打つ合わせて、他の職員にも情報を共有し、支援に活かせるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	特記事項があれば、記録して、それについて話し合いをして、次回の支援に活かすようにしています。	その日の支援について、良かった点・改善が必要なことあれば、その都度話し合いをして、次に活かしているよう努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		決められた期間にモニタリングをして、支援計画書を作成して、説明しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		できる限り、ガイドラインに沿った支援をおこなっているよう、心掛けていますが、日によっては難しい場面もあります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	その子にとっての最善の選択ができるように、日々の支援の中で、大人が正しい行動を示すようにしています。	間違った選択をしてしまった時のフォローや、どうすればよかった等の話しをして、次回につなげているようにしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		その会議に適したものを参画するようにしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		連携を取れている機関もありますが、連携が取れていない機関もあるので、利用者に切れ目のない支援を提供できるよう、関係の構築を目指していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者様や学校の先生との関係を築いていくことで、情報の共有をおこなっているようにしています。	学校とデイサービスでの支援を一貫していくことで、利用者が円滑に過ごせるよう、今後も情報提供に努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	7		専門の相談員やその者に詳しい者が、情報等の提供に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		情報を提供できている機関もあれば、連携を取れていない機関もあるので、連携を取っていけるよう努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		第三者の助言を受けれる機会を設けていけるよう、関係を構築させていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2		みつばちが企画しているイベントや、子ども食堂など、今後も地域の子どもと活動できる機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	意見を出し合い、子どもたちが楽しめる企画を検討し、実施しています。	放デイ連絡会を発足し、様々な関係機関との連携を結んでいます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳や、毎日の送迎、懇談等で、伝える場を設けています。	今後もより良い関係を築いていき、同じ認識を持ち、より良い支援をおこなっているよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		利用者の保護者さんで、情報共有をおこなえる場を企画し、進めてまいります。また時間帯を分け、選択して参加できるようにしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	説明後にも、不明点がないか確認を取り、きちんと理解してもらるようにしています。	契約時に、きちんと説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		利用者には、支援活動を通して思いを聞いたり、保護者様には、話しができる環境を整え、聞ける場を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	いつでも見れるように、保護者様にとっていただいたアプリに公開しています。	作成後、支援内容を説明し、同意が得ることができなければ、意向に沿った計画を新たに作成しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		日々の送迎時や懇談、必要に応じた面談をおこない、適切な助言をおこなっているよう心掛けています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0		現状、まだ開催することができていませんが、交流できる場を企画していて、実行していく予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	トラブルがあった際は、お互いの話しを聞き、気持ちよく終われるように、その日に解決できるようにしています。	トラブルがあった際は、きちんと保護者様に説明・謝罪し、今後の対応策もお話しいけるよう努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎週水曜日・土曜日に子どもの活動している姿を配信していて、個人情報にも気をつけています。	年間計画・毎月のお便り・利用者の活動姿等を、HPやSNSでも発信しています。また、お知らせ等もあれば、随時発信するようにしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		個人情報に十分注意して、支援に努めています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		個々に応じた配慮をおこない、相手の気持ちに寄り添った言動を心掛けています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		地域の方を対象としたイベントも企画していますが、参加につなげていくことが課題となっています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		HPに掲載し、周知しています。また、定期的に話し合いや訓練もおこなっています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	定期的に避難訓練をおこない、毎月違った内容で取り組み、利用者とは避難の仕方を確認しています。	告知しておこなうこともあれば、告知なしでおこなうこともあり、職員避難誘導や利用者の動きを確認しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		面談の際や、契約時でも確認したり、調査書にも記載していただく箇所を作成して、漏れがないようにしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	提供する前に、アレルギーの確認を複数でおこない、誤食を防ぐようにしています。	保護者様の意見の元、対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		利用者が活動する部屋での環境を整えたり、研修等も含め、日々安全に留意して支援をおこなうよう心掛けています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	契約時に、説明しています。	安心して預けていただけるように、災害時の避難場所や対応等のお伝えしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	小さな事案でも、ヒヤリとしたら書く習慣をつけ、職員間で共有して、再発の防止につなげています。	定期的にヒヤリハットを回覧で回し、気をつけて支援を提供していけるよう、職員の意識づけにおこなっています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		年に数回、全体での虐待防止についての会議をおこなったり、虐待研修に参加して、虐待に対する意識の底上げをしています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		落ち着かせるために身体拘束をすることはないですが、身体拘束の意味合いも広がってきているので、気をつけて支援をおこなっています。